

## 東京大学史料編纂所 学術支援専門職員・学術支援職員の募集

### 概要：

平成 19 年度～平成 23 年度科学研究費補助金(学術創成研究費)「目録学の構築と古典学の再生—天皇家・公家文庫の実態復原と伝統的知識体系の解明—」(研究代表者 東京大学史料編纂所教授 田島 公 [課題番号: 19G S 0102]、本年度は 3 年目)の研究課題遂行に伴い、禁裏・公家文庫収蔵史料の「デジタル画像内容目録」の作成などの研究支援が行える日本中世史専攻の学術支援職員を 1 名、「日本、中国・朝鮮対外交流史年表—大宝元年～文治元年—」の増補・改訂(特に中国・朝鮮関係史料所載の倭・日本関係史料の検索確認・調査研究)、及び禁裏・公家文庫所蔵漢籍目録収載史料解読の研究支援が出来る東洋史(アジア史)専攻の学術支援専門職員 1 名を、それぞれ募集。

**機関・部署名：**東京大学・史料編纂所

**所在地：**〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

**職種：**(A) 学術支援職員、及び (B) 学術支援専門職員

**勤務形態：**(A) 学術支援職員は週 2 日 14 時間程度。(B) 学術支援専門職員は週 1 日 7 時間程度。給与は本学の規定による。

**応募資格：**次の各要件を満たす者。

#### (A) 学術支援職員

- (1) 大学院修士(博士前期)課程(日本中世史専攻)修了の学歴を有する者。
- (2) 日本中世史の研究論文がある者。
- (3) コンピュータの操作に堪能である者。

#### (B) 学術支援専門職員

- (1) 魏晋南北朝以降宋代までの中国史専攻で、博士後期課程に 3 年間以上在籍し、所定の単位を取得している者。なお、上記専攻で、平成 22 年度中に確実に博士号を取得出来る場合は、特任研究員として採用することもあり得る。
- (2) 中国目録学に関する大学等の講義を受け、漢籍を収蔵する図書館・研究機関・文庫などでの調査研究・実習などの経験がある者
- (3) 魏晋南北朝以降宋代までの中国史関係の論文がある者。
- (4) コンピュータの操作に堪能である者。

**募集期間：**平成 22 年 4 月 20 日(火)～平成 22 年 4 月 30 日(金)必着

(書類選考の後、適任者に関しては面接を適宜行い、採用が決定した場合、募集期間を短縮することがある)

**採用予定日**：平成 22 年 6 月 1 日(応相談)

**提出書類**：

- (1) 履歴書(写真貼付)。下記にある書式で提出下さい。No2 も忘れずに。  
<http://www.u-tokyo.ac.jp/recruit/pdf/yousiki.xls>
- (2) 学術支援職員の場合は、修士課程の修了証書の写しと研究業績リスト(書式は任意)。
- (3) 学術支援専門職員の場合は、指導教員の推薦状(様式は任意)。
- (4) 学術支援専門職員の場合は、大学院博士後期課程単位取得の証明書。平成 22 年度内に博士論文提出予定者は、指導教員の推薦状の中で博士論文の進捗状況を明示すること。
- (4) 学術支援専門職員の場合は、主要査読論文のコピー3本の写し。それぞれ論文の要旨をつけること。
- (5) 学術支援専門職員の場合は、志望動機を 2000 字程度でまとめたもの。

**送り先**：封筒に「学術支援職員応募書類在中」と朱書の上、下記に、提出期限までに簡易書留等配達記録が残るもので送付すること。

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学史料編纂所事務部総務・給与チーム係長 堀

**問い合わせ先**：

東京大学史料編纂所・古代史料部門・教授 田島 公

Eメールの場合は、tajima の後に、@hi.u-tokyou.ac.jp をつけて下さい。なお、科学研究費補助金(学術創成研究費)「目録学の構築と古典学の再生―天皇家・公家文庫の実態復原と伝統的知識体系の解明―」の概要に関しては、「<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/kodai/kinri-kuge-index.html>」を参照のこと。

**選考方法**：応募書類により選考し、適任者に関しては随時面接を行う(面接に伴う交通費等は支給しません)

**備考**：応募書類は返却しません。